

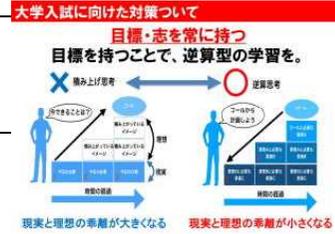
太宰府中学校3学年だより

No.11

R4.9.14

文責:3年学年主任

逆算の計画



前期期末考査がやっと終わりました。今回の試験は、どの教科も前回の中間考査と比べて難しかったようです。

返ってきた答案を見て落ち込んだり、解答欄を間違えたり単位を確認しなかったりといった「ケアレスミス」で悔しがったりする姿が数多く見られました。

私は、テストは「試合」のようなものだと思っています。皆さんは、これまでに平日の部活動では、素振りや筋トレや練習といった基礎トレーニングを重ね、休日の練習試合ではその成果を発揮してきたと思います。

試合では、今まで予想もしなかった展開にこれまでたくさん出会ってきたと思います。そのとき「うまく行った・勝てた」原因はなぜか考えたことがありますか。

原因は1つではありませんが、日頃の練習を応用できたことも大きな要因だと思います。「あのときに、いつもより多く素振りや稽古を重ねていたからかな」「前回の試合でミスったパスやシュート、スパイクをやり直したからかな」思い当たること1つはあるのでしょうか。

テスト対策も根本は同じだと思います。次の試験では「ミスらない」ようにするにはどうしたらよいか、答案を分析して自分の弱点を見つけ、作戦をしっかりたてましょう。

さて、次の試験は「学力診断テスト」です。既に、試験範囲は夏休みの面談で渡しました。

この試験が、皆さんの進路選択に大きく関わる大切な試験であることは、これまで何回となく伝えていました。今回、新たに試験範囲が配られ、もう2週間後に迫ったのかと、改めてひしひしと感じたと思います。

皆さんがこの「試合」に全力で挑み、それぞれが満足した成果を収めることができるように、今回「逆算の計画」というものを提案しました。(右図)

逆算とは、試験の日から今日までの2週間を遡(さかのぼって)、「〇〇日までに電流回路の問題を10問解く」「〇〇日までに歴史の問題集を1冊コンプリートする」など、取り組む課題に完成期限を決める方法です。こうすると、だいたいの目標とする課題は解決できると思います。

実は、今回の試験でも、当日ギリギリまでワークをやっている人がいたので、計画的に取り組んで、よい成果を得てほしいという願いもあって提案した次第です。

この方法は、先生たち大人が仕事をするときもよく使っています。私の今の仕事の1つに「進路説明会資料の作成」があります。資料を10月〇日に完成させるために、逆算して9月〇日までに〇ページまで作成するという計画をたてています。

時には、計画どおり行かないこともあります。しかし、頭の中に常に「完成期限」を設定しているので、ほぼ仕上げることができます。

ぜひ一度試してみてください。